

## バックグラウンドでの自動アップデートについて

ウインドウズアップデートに関する実行手順を作成しました。(第3回Z P S C役員会議事録・確認事項③参照)

### 目次

○実行手順の内容：、

○備考 A アップデートについてのこれまでの経過説明：

○備考 B 添付参考資料

※4. 参考資料。

※5 省略：(ZPSC-HP記載のWin7統一基準)

※6 省略：

※7 更新プログラムが正しくインストールされたか確認する方法

\*\*\*\*\*

○ 実行手順の内容：

第3回Z P S C役員会議事録・確認事項③「講座用PCのアップデートの取り扱いについて」に以下の（1～4.）の実行手順を追加補充しました。

1. バックグラウンド作動でアップデート・プログラムをダウンロード

実行手順：アップデートを自動更新に設定

・コントロールパネル→Windows Update→設定の変更

・「重要な更新プログラム（I）→

「更新プログラムを自動的にインストールする（推奨）を選択

・「OK」

2. 自動ダウンロードのみでインストールさせないでシャットダウンする手順

・スタートをクリック→「シャットダウン」ボタンに「権」のマークがついているのを確認したら、スタートメニューを解消する（権のマークはアップデートプログラムが

ダウンロードされていることを示し、通常のシャットダウン手順でインストールが始まる)・・・この2項再度検証中！

- ・起動中のアプリをすべて終了
- ・「ALT」+「F 4」→選択ウインドウ表示
- ・「Windows のシャットダウン選択」ウインドウの「▼」をクリック
- ・「シャットダウン」を選択し「OK」をクリック

### 3. 自動でダウンロードした更新プログラムをインストールさせる手順

- ・通常のシャットダウン操作を行う。(次回起動時に再起動操作を行う) ※3

### 4. IEをVer. 10に固定する手順 (IE10以降)

- ・IEを起動し「ヘルプ」→「バージョン情報」
- ・「バージョン情報」画面  
□新しいバージョンを自動的にインストールする  
の「チェック」を外す。※4

\*\*\*\*\*  
\*\*\*\*\*

以上 (2014-6-27) の講座に於いて操作確認チェック。

(文責 : T.T)

※3. 自動 Up-Date は、PC 終了時又は再起動時にインストールされるが、それを時間の取れる再起動時にする方式に変更する。

{メンテ時間の取れる日にインストールする為に、終了時には（無メンテ）シャットダウン操作とする。これによりインストール最中の不用意なシャットダウンの防止を図る。}

## ○備考 A アップデートについてのこれまでの経過説明：

これまででは講座日とは別の日に Up-Date を行うことが多かったが、1～3カ月 Up-Date 期間を空けると多量のデータ蓄積のため処理困難になってしまいトラブルが生じた※2（館のインターネット・スピード事情にも関係する）。

この改善を図りかつ作業時間の削減のために、バックグラウンド方式で Up-Date する新方式を役員会で決めた。

ダウンロードは自動とし、Web 利用の多い（例：講座第 3 日目又は 4 日目に於いては）講座中の自動稼働を OFF にすることもできる設定とする。

基本は自動だが、Web 環境に応じて自動から手動に変更することも可能。

自動ダウンロードを行い、インストールについては改めて、時間のあるときに再起動を掛け行う。

これに伴い Win 7 統一基本設定を修正する。

※2 : 2014-3 月のデジカメ講座後の Up-Date 作業中。

<<今後の予定>>など

6 月 C-グループの word 講座で自動検証した。

7 月 A-グループのエクセル講座で再検証した。

9 月 A-グループの PC 基礎講座で検証予定。

## ※4 資料

「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブ... <http://ipro.nikkeibp.eo.jp/article/NEWS/20140203>

ニュース

### 「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブロックする方法

2014/02/03  
(勝村 幸博=日経コンピュータ)

日本マイクロソフトは2014年1月中旬より、Windows 7向けにInternet Explorer 11 (IE11) の自動アップグレードを開始した（関連記事：[日本マイクロソフト、Windows 7向けIE11の自動アップグレードを1月に開始](#)）。だが、アップグレードしたくないユーザーもいるだろう。そこで、自動アップグレードを簡単に無効化する方法を紹介する。

IE11では、IE10までと比べて、機能やパフォーマンス、セキュリティなどが向上している。特に理由がなければ、Windows 7ユーザーもIE11にアップグレードした方がよい。

しかしながら、IE11に対応していないWebサイト（Webアプリケーション）は少なくない。このため、1月中旬以降、特定のWebサイトが急に利用できなくなったら、IE11への自動アップグレードが原因である可能性がある。IEのバージョンは、IEの「ツール」ボタン（歯車マーク）で表示される「バージョン情報」をクリックすると表示される（図1）。

知らないうちにアップグレードされたユーザーのために、まずはIE11からIE10にダウングレードする方法を紹介しよう。IE11は「更新プログラム」としてインストールされているので、「インストールされた更新プログラムを表示」の画面にアクセスして、「Internet Explorer 11」をアンインストールすればよい（図2）。



図1●知らないうちにIE11になっている可能性もある。「バージョン情報」をクリックして確認を

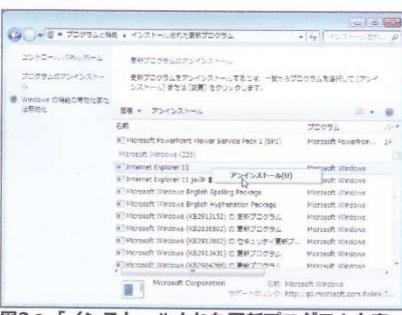


図2●「インストールされた更新プログラムを表示」

「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブ... <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20140203>

ログラムを表示」には、「コン [画像のクリックで拡大表示] トロールパネル」→「プログラム」などからアクセスできる。「スタートボタン」をクリックし、検索ボックスに「プログラムと機能」と入力すると表示されるウインドウの左ペインにも、「インストールされた更新プログラムを表示」へのリンクが表示される。

IE11をアンインストールすると、Windowsの再起動を求められる。再起動すると、IE10にダウングレードされる。

ダウングレードしたら、今後は自動的にアップグレードされないように、自動アップグレード機能を無効にする。日本マイクロソフトでは、自動アップグレードを無効にするための「Internet Explorer 11 自動配布の無効化ツールキット」を提供している。このツールを利用すれば、IE11の自動アップグレードをブロックできる。

ツールをインストールするには、該当ページからパッケージをダウンロードして展開し、コマンドプロンプトから管理者権限で実行する（図3）。

それほど面倒な作業ではないが、IE10のユーザーなら、もつと簡単に自動アップグレードを無効にできる。IEの「ツール」ボタン（歯車マーク）で表示される「バージョン情報」に表示される「新しいバージョンを自動的にインストールする」のチェックを外すだけだ（図4）。

この作業はユーザー権限が必要なため、チェックを外すと、UAC（ユーザー アカウント制御）のダイアログが表示され、確認が求められる。

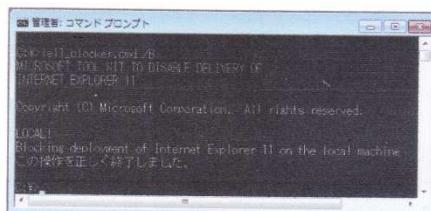


図3●「Internet Explorer 11 自動配布の無効化ツールキット」の実行例。管理者権限で実行したコマンドプロンプトから実行する。「/B」で無効化し、「/U」で有効に戻せる  
[画像のクリックで拡大表示]



図4●「新しいバージョンを自動的にインストールする」のチェックを外すと、自動アップグレードが無効になる

「無効化ツール」は不要、IE11の自動アップグレードを簡単にブ... <http://itpro.nikkeibp.co.jp/article/NEWS/20140203>

ただし、「新しいバージョンを自動的にインストールする」のチェックが表示されるのはIE10のみ。それより古いバージョンでは無効化ツールキットを利用するか、IE10にアップグレードしてから、チェックボックスを外す。なお、IE10をインストールできるのは、Windows 7/Windows Server 2008 R2以上。

※6 参考資料 省略：

※7 更新プログラムが正しくインストールされたか確認する方法

[http://www.microsoft.com/ja-jp/security/pc-security/inst\\_history.aspx](http://www.microsoft.com/ja-jp/security/pc-security/inst_history.aspx)